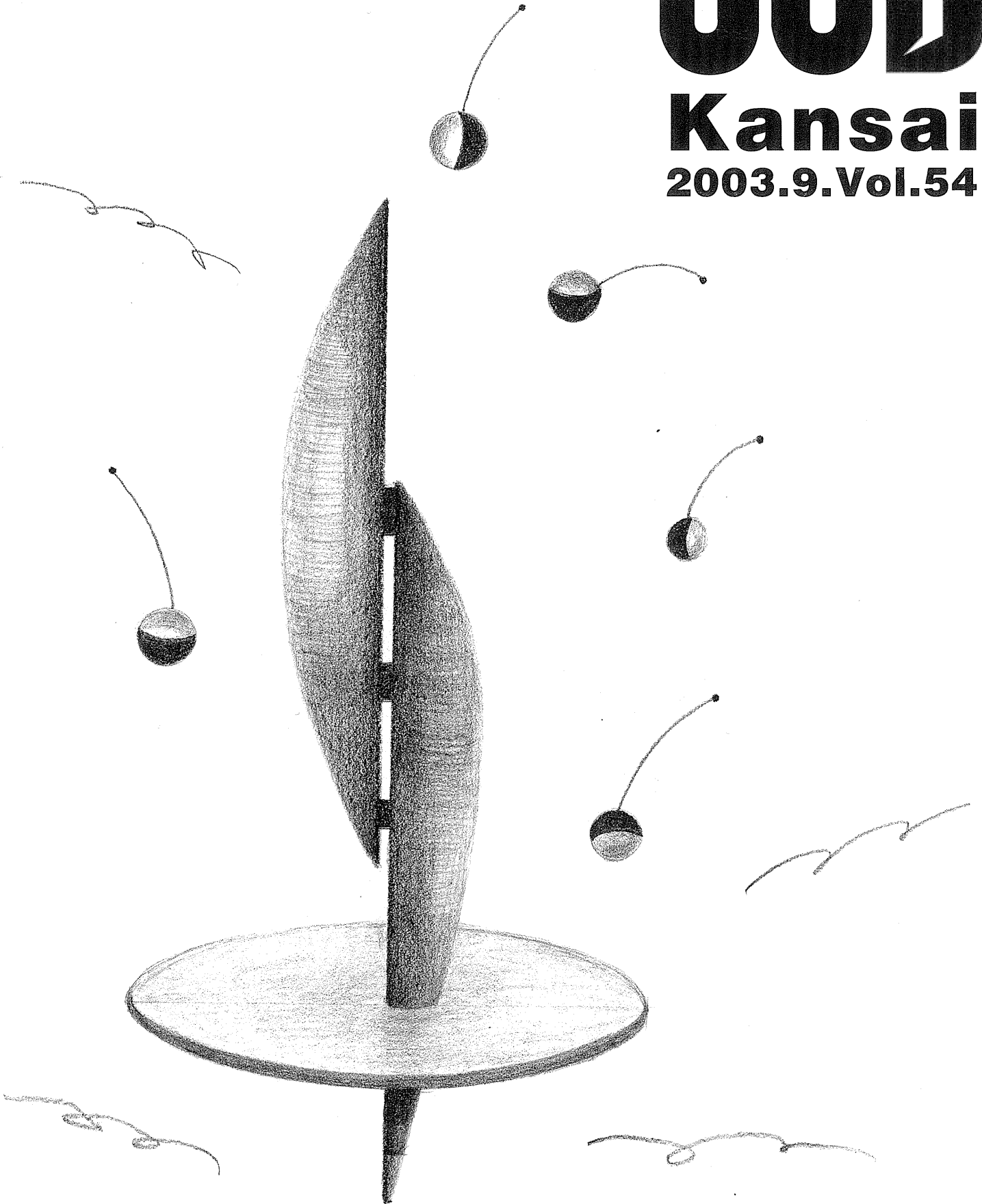


JCD

Kansai

2003.9.Vol.54



姫路中心市街地ダイエー跡地再生



JCD会員が指導・提案

おばん臭い小溝筋商店街が「グルメ&ファッション」天国に変身中!



大手前通り側入口



御幸通り商店街側入口



ひろめ新鮮市場



2階飲食ゾーン

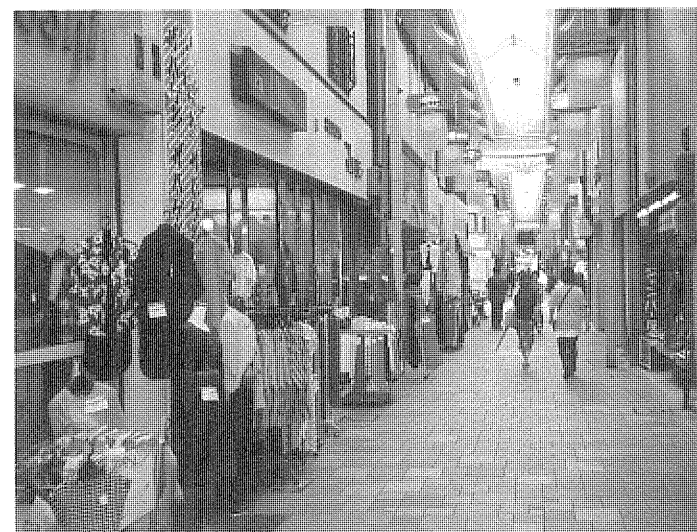
JR姫路駅の北側を降りると、真正面に世界遺産「姫路城」がそびえ建つ。駅前から姫路城に向かってシンボルロードの大手前通りと市内で最も賑やかな御幸通り商店街が平行して伸びており、7~8分歩いた所に百貨店「ヤマトヤシキ」が立地している。その北隣に「姫路ひろめ市場」が今年の4月28日にオープンした。

この場所はもともとダイエーが営業していた所で、去年の1月に退店した跡地に地権者が会社を設立して、新しい集客施設を建てたものである。当初は高層複合ビルの計画もあったようですが、姫路TMOの紹介で、高知市内で多くの観光客を集めている「ひろめ市場」と出会い、実際に「ひろめ市場」を現地視察し、検討を重ねた結果、余り重装備にせず、低層の仮設風店舗による市場建設に落ち着いたそうです。

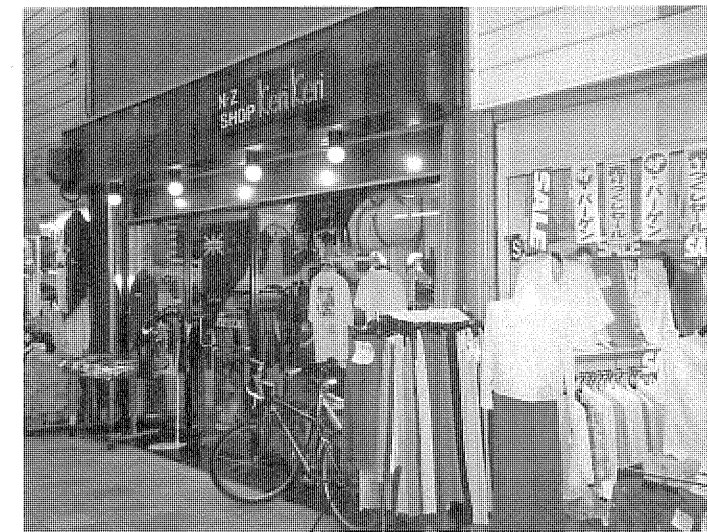
延床面積約4,805㎡の2階建ての建物で、半地下を駐車場にし、1階は会社直営の食品スーパーと16店舗の地場産品、雑貨店等が、2階にはラーメン、寿司、アジア料理、イタリア料理、カフェ等飲食店37店舗と650席の客席が設けられている。店で注文し、広い客席で自由に飲食できるいわゆるフードコートシステムで、屋台店の集合体とも言える。本場高知市では平日で約6千人、週末は約2万人が訪れる市内屈指の観光名所になっているが、姫路ではまだ屋台感覚の飲食街になじみが薄く、オープン当時は一日1万人以上の集客があったが、最近では客数が減って来ている。一方1階の生鮮食品市場(スーパー形式)は盛況で、旧ダイエーより集客しているという話である。

やはり売りは2階の飲食ゾーンで、若者が集まる仕掛けづくりが今後の課題となる。既に店内に巨大スクリーンを設置して、スポーツ実況放送を放映したり、ゲリラライブを仕掛ける等、賑わい創出の実験は始まっている。中心商店街の遊びのスポットとして、商店街ぐるみの集客イベントが必要に思われます。

一方、姫路ひろめ市場の立地する御幸通り商店街の一つ東



旧来の婦人服店群



ヤングファッション店が進出

側に、最近にわかに注目を集めつつある商店街がある。その名を「小溝筋商店街」と言う。もともと闇市があったところで、戦後は衣料品を取り扱う商店街として発達したが、経営者が高齢化し、いつのまにかおばん臭い「暗い、汚い、怖い」商店街になり、空き店舗が多々発生していた。そこに目をつけたのは若い店主だった。特に近くファッションビルで働いていた店長達が集団で、ここに新規開業してから若者達がたむろするようになった。店舗の内装工事は自分達の手で行い、軍資金の殆どを商品に投資したと言う。姫路TMOの佐藤プロジェクトリーダーによると、商工会議所は若干の助成はしたが、それは空いた店を埋めると言う空き店舗対策事業ではなく、意欲ある若い事業者のチャレンジ事業をサポートしたそうだ。その結果、3年前には約20店舗あった空き店舗が、現在は3店舗になっている。お年寄り相手の商店街が、若者相手の「グルメ&ファッション天国」に変身したのである。なぜ変わったのか。答えは簡単、家賃が安く、店の規模が小さく、客層を若者に絞ったからである。今では、路地裏からサブメイン通りになり、若者達で賑わっている。

この流れにJCD会員が黒子として係り、貢献している。その発端は8年程前に小宮会員が、アーケードとカラー舗装の改修工事のコンセプトとデザインを提案している。当時はまだ高齢者が実権を握っていたが、改修をきっかけに二世に経営権を譲り、彼らが経営出来る環境づくりを目指したと言う。その後、約4年前に私がTMO構想の中で、この小溝筋商店街を「ヤングファッション」ゾーンとして位置付けし、更に、去年山田会員が講演会で南船場の事例を紹介しながら、街としての発展には行政が直接手を出さず、黒子として応援すべきだとアドバイスしている。このようにJCD会員の専門的なアドバイスを参考にしながら、街をプロデュースする姫路TMO(姫路商工会議所)の佐藤氏の存在が大きい。

情報委員会 神戸一生 記



新しい感覚のレストランが進出



生まれ変わりつつある商店街

Overseas Report

海外レポート

6月のパリ、エクサンプロバンス、マルセイユ旅行

6月初旬にパリ、エクサンプロバンス、マルセイユを駆け足で旅行して来ました。

パリの6月は夜10時頃迄明るいので、夕食は自然と戸外を楽しめるレストランになります。

6月初旬にオープンしたPhillip Starckのデザインしたレストラン"Kong"は大はやりで、早速皆と出掛けました。(普通には予約は中々取れないらしい。)

それはPon Neuf橋の近く、ルーブルの少し先、rue du Pon Neufにある最近LVMHが4~5棟買い占めた一角にあり、Kenzoの最上階5~6階にあります。5階はバーで、長いカウンターが中央を縦断していてクラマタの「ミス・ブランチ」のようなバラがプラスチックに封じ込められたカウンタートップが印象的です。



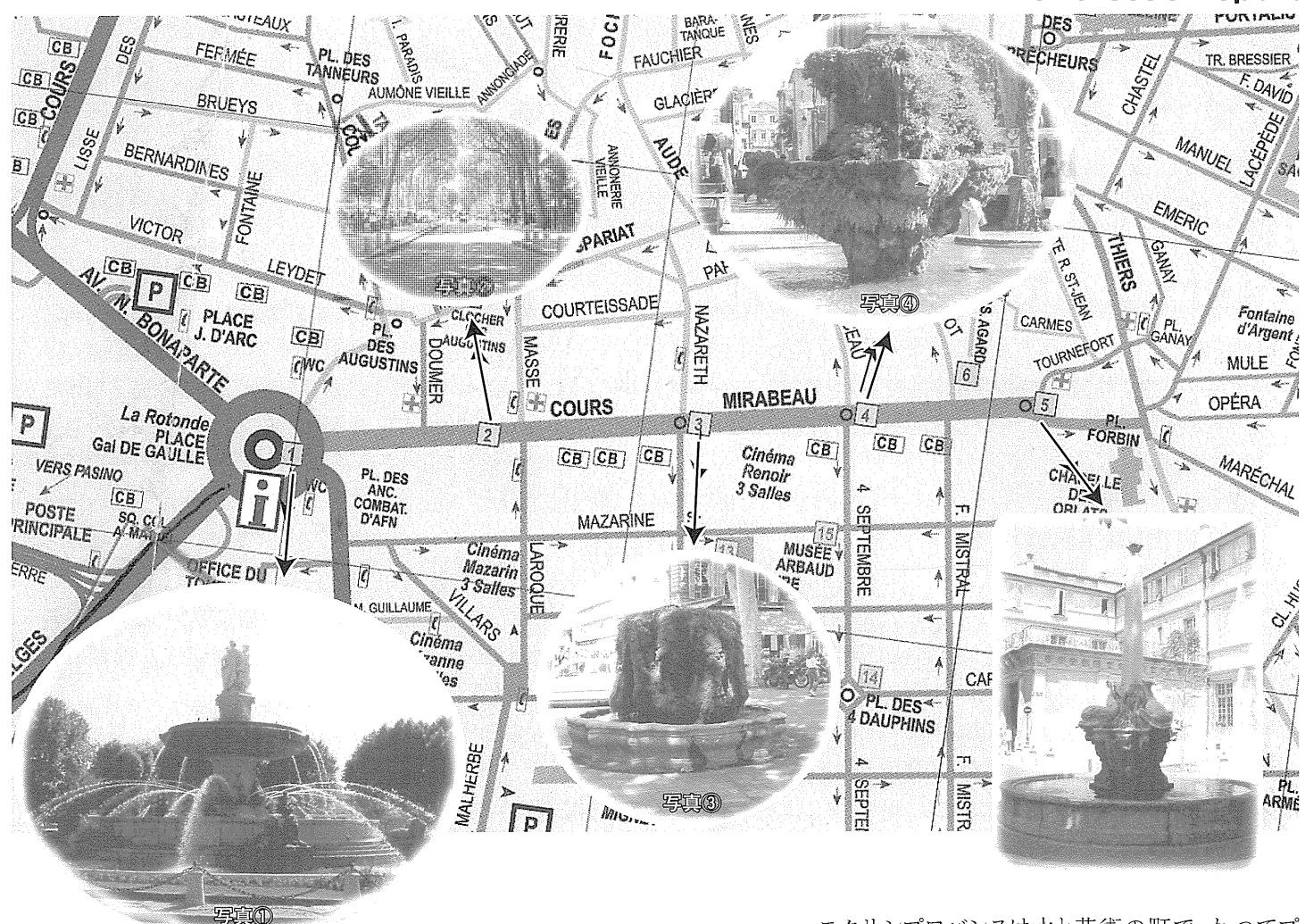
上階がダイニングルームなのですが、天井は全て円形のガラスボールトップ(かなり凝った構造)先端が爆撃機のような球形をしていて、飛行船のキャビンに居る様な感じです。このレストランは日本をモチーフに(と言ってもデフォルメ)イメージラインを設計しており、日本人から見ても面白いです。

BAR RESTAURANT
KONG
1, rue du Pont Neuf
75001 Paris
tel: 01 40 390 900
fax: 01 40 390 910
<http://www.kong.fr>

残念ながら誌面で写真をお見せ出来ませんがショップカードを見て想像して下さい。

又、灰皿(私はタバコを吸わないが)の裏には「POUVEZ-VOUS ATTENDRE UN PEU AVANT DE LE VOLER...」とあり、「持って行く前にもう少しここに居させてネ」と言う意味らしい。きっとパリの人は皆が持って行くと言う事でしょう!

又、トイレはスダレ様のボールチェーンが入口にあるだけなので、男子小用中に女性客が間違っ入って来る事も度々ありますので(確率50%の為)要注意です。



エクサンプロバンスは水と芸術の町で、かつてプロバンスの都として栄え、17,18世紀当時の町並を残しています。この町で印象に残るのは噴水と広場で、町の至る所に見所が有ります。

ドゴール將軍広場の噴水「La Rotonde」<写真①>、同じLe Cours Mirabeauーミラボー通り<写真②>の次にあるのが奇妙な形の「La fontaine des Neuf Canons」(11の大砲噴水)<写真③>で、その次が「La fontaine D'ean chande」でMossyと呼ばれる温水噴水、その名の通りコケむしてます。<写真④>。その他にも「4 dauphins」ーその他名の知らない水飲み場があちこちに有ります。

水を飲むのにコツがあって、吐水口の上に穴が開いていて、吐水口を手で封じると上の穴から水が噴いてくる仕掛けになっています。



株式会社フレスコ
足立 和夫

Working Now

『好きなんです!この仕事!』

相変わらずバランスの悪いスケジュールに追われて仕事をしています。戸建住宅の設計管理、マンションのリフォーム設計、教会の新築計画、あの[SnowBrand]のMDセンター増築計画...etc.

何かクレームをつけなければ気がすまないのが、毎日現場に顔を出し職人さんの言葉尻を捕まえて喜んでる施主。溢れかえる情報に目移りし、頭の中がバーゲン会場状態で自分ではもう既に判断がつかなくなり、毎回PLANが変わる奥さん。敷地の有効利用という名目で調整池の上に無理矢理、自走式の駐車場を指示するコンサルタント。

様々な人達に振り回して頂いている今日この頃です。専門誌を覗いてもどこかで見たようなデザインばかりで、どれも最新号なのかわからなくなってしまいます。自分が関わっている仕事とは全く別のように感じられます。学生の頃のように感激する設計や、いつかはやってみたいと憧れるデザインに出会う事も少なくなってきました。

別に諦めているわけでも悲観的になっているわけでもないので、"私の役割は一体何なのか"、"毎日あくせくしている仕事は役に立っているのか"、"本当に良いデザイン・設計ってどういうものなのか"などとしみじみ考えながら目の前の物件をこなしています。知り合いのデザイナーさんとも最近電話でそのような話をしていました。

特別な能力があってこの分野の仕事についていたわけではなく、ほんの少しだけ周りの人よりモノをつくる事に興味が強かっただけで、そういう行為が"好き"なんだなあなどと考えているそんな中で、最近流行の『水』-健康に良い、なんとか名水とか言う代物-を扱ったお店とそれに隣接する賓客用の施設計画の依頼が最近ありました。

ゼネコンの知人からの話だったので、恐る々々「思い切り楽しんでデザインしていいですか?」とお願いしてみたら快く了承してもらいました。何と言っても、これがイイ!現場が遠いので打合せも小旅行みたいでリフレッシュできます。久しぶりに気分良く仕事ができそうです。

Designing Produce ALGO 末浪伸浩

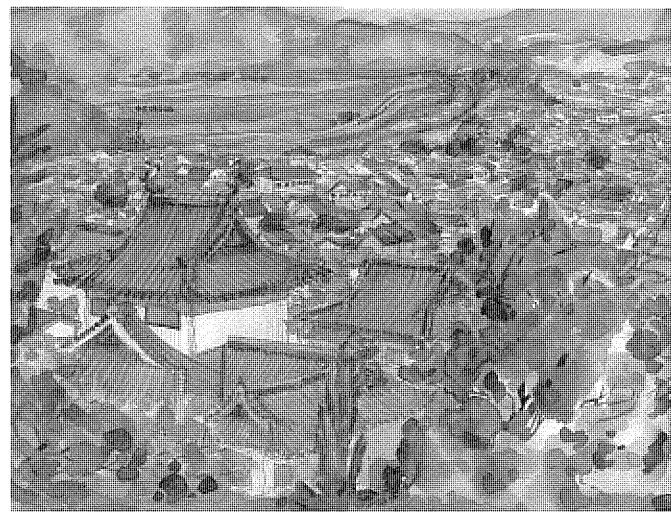
るるぶ会の皆様、よろしく!!

子供の頃から工作をするのが好きであったが、絵を描くことは得意ではなかった。高校2年生頃、建築という職業に夢を抱くようになりデッサンするきっかけを得るようになった。

大学に入って、デッサンの授業を受ける事が楽しくてこの授業は欠席する事が無かったように思う。しかし、同級生には憧れるようなデッサンを描ける友人たちがいて、自分の画がとてみすぼらしく恥ずかしい思いをした事が思い出される。

社会に出てからも職業柄パースを画く事が必要ではあったが、どちらかと言うと出来上がりもまずく、絵筆を持つ事が苦痛に感じる事が多かった。ここ数年、JCDのるるぶ会に参加し、いろいろなスケッチポイントに同行させていただいて水彩画を描く事を教えていただいている。しばらくは描く事に苦痛も多く苦痛を感じる事もあったが、最近なにかしら描くのが楽しみとを感じるようになってきています。

この年に至るまで下手なりに絵として完成させたのは中学時代の授業で出した物くらいの記憶しかないが、るるぶ会に参加することで各地の名所を訪ね楽しむ事。又、その地の名物を食する事も大きな楽しみではあるのですが、



絵を無心に描き下手なりに完成の喜びを得るようになりました。他のメンバーのように、まだ人に鑑賞してもらうような絵はまだもって描けないが、るるぶ会の熟達したメンバーの指導を受けたり、横目で描く様子を眺めさせて頂いたり、下手なりにお褒めをいただく事に喜びを感じて絵筆を持つ事に苦痛が無くなり、趣味として楽しみが又一つ増えたようで嬉しく感じています。

これからもるるぶ会の皆様、よろしく!!

(有) エーディーエー 亀井克二

感謝、感謝、

また、人に助けて貰いました。いつも迷惑を掛けているのにまた、限りなく努力をしていただきました。私が仕事をするに何時もだれかに迷惑を掛けてしまいます。

先日、最近の仕事を書いてほしいと言われて、デザインも出来るアスリートとしてはこの夏、京都マスターズ水泳大会、舞洲トライアスロン大会、舞洲24時間マラソン大会、神戸アクアスロン大会、吹田水泳大会と、つぎつぎに大会をこなし、体脂肪を19%に維持しながら、一つの雑貨屋さんをオープンさせようとしています。

事は3か月前、友人のプロデューサーの紹介でした。借金をして初めてお店を出そうとされるオーナーと郊外の住宅地にある、その空間を見に行きました。

その通りはケーキショップや雑貨屋、ヘアサロンなどが並び、その建物も築15年で少しくたびれていますが、なにせ家賃が安い。オーナーも見に行った日に契約されたそうです。まだ6月、涼しげに風も吹き、並木も心地よく茂っていました。ふと、内部を見るとエアコンがありません。分電盤もトイレも、水道も。不動産屋さんに行っても凶面も無く、だから安いのだと。予算は設計料金込みで言われており、嫌な予感。こんな事は大事なことではない、と自分に言い聞かせ、プランに取り掛かりました。20坪の雑貨屋さんですが、なにせオーナーにとっては初めての店作り、プロデューサーも交え、週に一度のミーティングを開く事になりました。コンセプトを立て、MDの構築、ターゲットもしぼり、次第にその形を現してきました。その間、ハードの余条件を整え、何とか設備図も手に入れる事が出来ましたがあてにならず、やって見ないと分からない有様でした。

雑貨屋は利益も低く、取り扱いメーカーも多く、労して益の

少ない商売です。そこでアパレルの比率を上げ、レイアウトもかたまり、スケルトン天井にフローリング、木の什器、優しいイメージでデザインをしました。冷夏と言われるところに、やっと見積もりが上がり、予想はしていたものの火星人襲来のような金額。毎度の事ながらの調整作業。この時すでに予算の中にロゴマーク、電気、上下水道の申請代が込みになっており、茨の数が増していました。お盆前には工事をスタートしたい。でも下がらない。体中から発汗する汗、何せ予算がないのが前提条件、止める事も出来ず。デザインを変更し、什器の数も減らし、素材を見直す。でも、その先は見えず、何時しかプロデューサーの姿は見えず。変わってオーナーの眉間の皺が増え、酸欠、ブラックアウト間近。そこで、オーナーの一言、予算は言っている、あなたの責任でやってくれ。あなたって誰? その時確かに、音がしました。プチッ!確かに聞こえました。

今回のファイナルアンサーはその場で商売が出来る事、商品が並び、明るく、暑さ、寒さも凌げ、快適を望むのでは無く、不快では無い。カッコイイでは無く、カッコ悪くない。デザイナーのバッチを外し、アスリートの様にゴールを目指し、走りました。照明器具の色もバラバラ、動力の盤も無く、什器もスチールの無塗装、レジも只の箱、塗装もできるだけ自分たちで塗り、見えない所は全て止めました。無呼吸で何とかゴール。

最近店に行ったり、見たりする時にあまりデザインされた店行くと、息苦しさを感ずります。無駄を感じます。でも、いざ自分の番となると、自分のエゴが出ます。自分のアイデンティティ、個性、ディテール、自分の痕跡を残そうとします。いろいろな事は有りますが気持ち良く商売が出来れば良いのですね。

また、一つ勉強しました。今夜もデザインも出来るアスリートは一秒でも早くなる為にトレーニングに出かけます。

平井隆嗣事務所 平井隆嗣

リクエスト満載

今、一番付き合ひの濃い店の出店が凄いです!2年半で14店舗目。この原稿を書いている今も330席の特大物1件、ついこの間180席がOPEN、妖艶な170席が工事中、来週から小振りだが活の良いのを着手。この号が出る頃には?件目。とにかく凄いな勢いとスピードです。しかも、スケジュールがこれまた厳しい。100坪クラスの物件でプレゼン&実施設計が10日~2週間。業者さんの見積及び調整で1週間、工事期間が30日有るか無いか!プラスリクエスト満載。

先日TVで、とあるプロレス団体の新人達の特集があり、入門初日から腹筋600回、ヒンズースクワット1000回、etcの超プロ的ハードなトレーニングに2人を除いて他は当日リタイア。『絶対無理だと思っても続けること、諦めた時が即終わり。』と先輩レスラーがボツリ一言。なんか2年位前のギルドにどこかオーバーラップする。

このクラスのチェーンだと通常、いろんな意味での効率を考え、

完全マニュアルを要求されるのですが、こちらは結構その逆です。与えられる設計期間、工期、予算、デザインについてその都度要望が進化します。しんどい反面、楽しいかも!

先程のプロレス団体では3年に1人がなんとかデブビューするらしい。私自身もデザイン業務に筋肉が付いた感じがするのはもちろん、おかげさまでギルド2年目佐々木嬢もこの半年で急激に進化し、いい感じに職人さんと技の掛け合いっこをしています。

ギルドとして少し慣れた感のある今、何よりもまっ先に『店の運営スタッフにマンネリではなく、毎回新鮮な感動してもらうこと、アルバイトさんにこんな店で働けて良かったと思われる店作りをする事』が頭をよぎる。

それが流行りで終わらないチェーン店舗につながる我々の役割分担かな?!

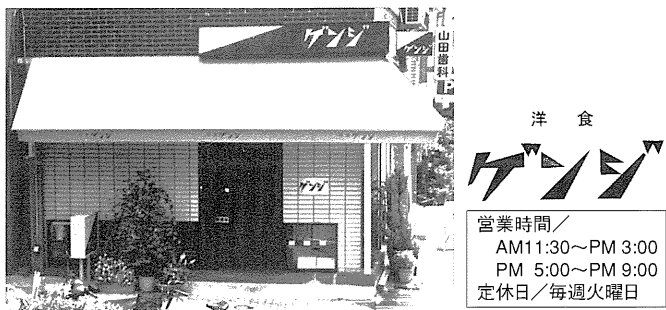
さてと、次は別クライアントですが、よく似たスケジュールで2050席というバケモノを11月に向けて楽しみますか!

ギルド 権藤 旭

洋食 ゲンジ

JR元町駅西口を出て、少し南西へ歩くと、洋食屋“ゲンジ”という店がある。カウンター席のみ13席という、こじんまりとした店で、夫婦+バイト1名の3名で運営している。震災前は確かJR兵庫駅周辺にあった店舗を現在地に移転したと聞いている。正直オーソドックスな店でインテリア的に特筆すべき点はないがとにかく味が良い。先日のJCDの懇親会で前田さんから今回の企画の主旨を説明して頂き、迷わず即座に脳裏に浮かんだ店である。

この店の売りは何と言ってもビフカツである。値段は定食で1,200円。ダブルのオーダーもOK。揚げ加減が絶妙で、衣も薄く、中身はミディアムレアのステーキ風で、今まで食べたどの店と比較しても1番うまい。定食の内容は、個々のメインディッシュに付け合せとしてサラダ&スパゲティ。そして、ライス+豆腐の味噌汁である。サラダはボリュームたっぷり、オーナー自ら手作りのドレッシングをボールで全体にからめた後フレンチドレッシングをのせてくれる。このサラダは特に女性に評判が良く、確かにうまい。数年前に、味噌汁の具がワカメに変わった事があり、私は思わずこの定食には絶対豆腐の方が合っていると言ったら、次に行った時変えてくれていた。きっと他の客からも、そういうリクエストが多かったのだと思う。一番高いメニューが4,000円のビーフステーキ。続いて2,200円のビーフシチュー(これも絶品)。しかし最近ではグリルチキンにはまっている。この店のグリルチキンは、新鮮な素材を生かし、焼き



加減も良く、表面の皮の部分はパリッと中身はジューシーで、バランスが良く、まさに絶妙のハーモニーである。さらに好みの定食をオーダーする時に+αとして、クリームコロッケ・エビフライ・ミンチカツetc、違う種類の揚げ物もトッピングできる。とにかく気の利いた少しだけリッチな気分の庶民派レストランである。

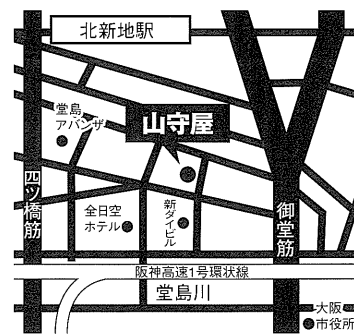
自分のお気に入りの“隠れた名店”というのはあまり紹介したくないのが世の常であるが、JCDの皆様だけに今回特別サービスです。是非機会があれば、行ってみてください。でも待たされるのは嫌なのであまり広めないで下さいネッ。

紹介者:(有)ワンズプランニング 元山英弘

洋食の店 山守屋

北新地の一角にこの洋食屋はある。昭和8年創業でオープンキッチンで最初に取り入れた店として、良く紹介されている。創業者が料理をしているときにお客の顔が良く見えるようにと取り入れたとのことである。店内はあまり広くはないが、雑然とテーブル席が数多く並び、楽な気分で座れる。昼間はサラリーマンやOLが多く、一人で入るとさりげなく新聞をテーブルの上に置いてくれるのも、白黒のユニフォームとあいまって、古くからの洋食屋として律儀に客に接する態度が気持ち良い。

紹介者:前田穂積



大阪市北区堂島1-2-32
Tel.06-6341-2446



好吃的店

おおさかの洋食屋さん

私が以前勤めていた会社で、東京の本社に転勤という話を断って毎週出張で東京に行っていた本当の理由は大阪の食べ物でした。

出張で二・三日なら平気ですが、四日を越えると耐えられませんでした。東京にもおいしいレストランはたくさんあるのですが、大阪のおいしいうどん屋と『街の洋食屋』という『定食屋』

というか、とにかく安くてうまくてボリューム満点の庶民の味は、当時は本当に無かった。今回は洋食屋さんの紹介という事で、その当時から慣れ親しんだお店を三軒選びました。

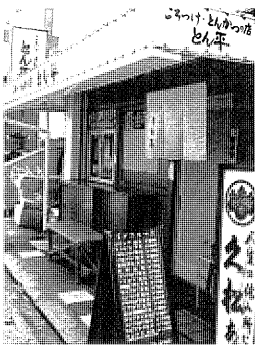
(大阪の人ならほとんどご存知だと思いますが……)

紹介者:原川公一

心斎橋・とん平

(おすすめは野菜炒め定食)

ナニワカメラの横の細い路地を北に入れば右側にあります。強火で溶き卵、もやし一袋、キャベツ、にんじん、ほうれんそうを豪快に炒めるだけ。とてもシンプルだけど、横に添えられるコロッケがまた昔懐かしい味でうまい。今は無くなった心斎橋の市場にあった6席ぐらいのカウンターだけのお店をご存知の方は懐かしいと思いますが、息子さん達が継いで、ここ以外に南船場と井池筋にもあります。



片町・とん太

(おすすめはアスパラ巻きカツ定食)

土佐堀通りのOBPの手前、学研都市線の片町駅のそばです。アスパラをベーコンで包み、豚のヒレ肉で巻いてサラダ油でカリッと揚げた物をポン酢でいただく。添えられた山盛りの細切りキャベツもオリジナルドレッシングがおいしくてペロリとたいらげられます。他にも、カレーミンチを挟んで揚げた物や、2種類を合わせた、とん作、とん子、とん八等メニューも豊富です。



心斎橋・明治軒

(おすすめはオムライスと串カツのセットとポタージュスープ)

大丸の南側を東に一筋目の手前右側。お店はビルになり、値段も少し高くなりましたが味は30年前とほとんど変わらない。昔からいるおじさんが黙々と作るオムライスは他の店とは何かが違う。串カツのソースもありそうで無い。一度食べるとはまりますよ。(大阪の人ならほとんどご存知だと思いますが……)



KITCHEN 桔梗屋

京都北白川通りを西へ入った閑静な住宅街の一角に、家庭風料理の店「キッチン桔梗屋」が見つかる。このあたりは比叡山麓の裾に位置し、山手付近には銀閣寺などがある。白川通りは京都でいち早く学生を中心とした、おしゃれな街として賑わった。個性的なショップが点在し、住宅街と隣接する立地は京都の特色である。女性に人気の高いこの店は、旬の素材や地物の素材にこだわっている。特に野菜は修学院の畑で自家栽培している。素材の持ち味を生かすため、ソースやドレッシングなど全て手作り。スタッフはオーナーを除いて全員女性、女性の好みが一番よくわかる女性自身の目で料理やデザートをつくる。こだわりの総菜やデザートのテイクアウトも売りの一つである器好きのオーナー夫妻が学生の頃からコレクションしたカップ類、自ら足を運ばせ買い集めた器も料理をひきたてる。フレンチ、イタリアン、チャイニーズ、懐石料理などその時期一番美味しい食材を、一番美味しい料理法で組み合わせる。ディナーは予約制で客の好みに合わせ、メニューを考えてもらえる。ちょっとよそいきの「家庭風」を提供してくれる店である。

紹介者:空間デザインワークス 草木義博



京都市左京区北白川東小倉町23-7
TEL.075-723-0933 OPEN AM11:30~PM7:00 日祝休業

「JCDデザイン賞2003」は昨年同様、東京表参道を濡らす小雨のなか、6月24日(火)午前10時TNプローブにおいて第3回目の公開審査が行われた。飯島委員長をはじめデザイン賞委員会の各メンバーは様子もわかり落ち着いた雰囲気の中、第1次審査が始められた。今回の特別審査員はコピーライターの糸井重里氏、昨年の宮本亜門氏と同様、どのような視点での見解が出されるかに興味が湧いた。他の審査員諸氏、杉本副理事長、飯島委員長、近藤康夫会員、橋爪紳也氏、青木淳氏は着々と審査が進行したが、特別審査員の糸井重里氏は少々困惑気味に審査されていた。今回のJCDデザイン賞は作品募集の範囲を海外に拡大し、韓国、中国、台湾、オーストラリアとアジアを中心にSARS渦が蔓延するなか、第5部門文化公共施設をメインに36点の応募があり、国内応募作品335点と併せて371点となり昨年対比32%の応募増となった。

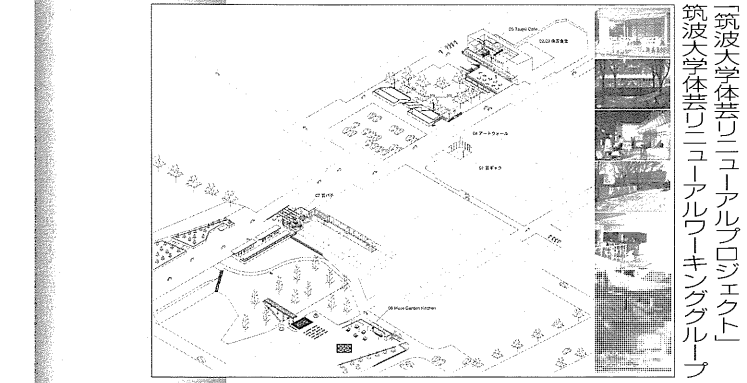
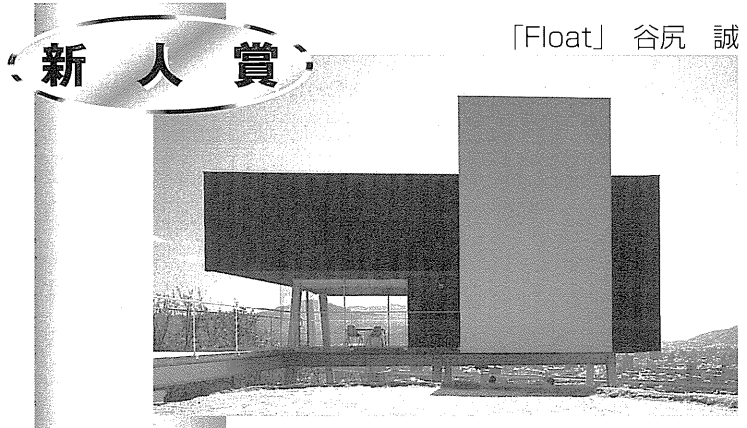
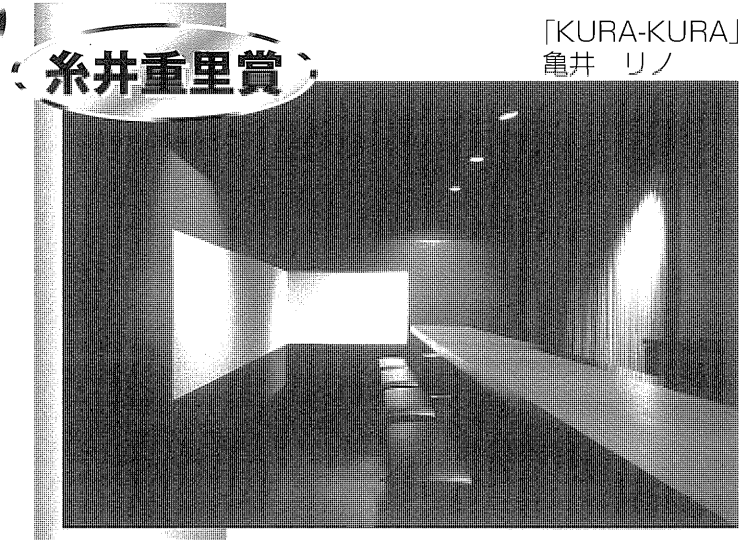
JCDデザイン賞 2003

午後1時、審査は公開となり前回より観衆は減ったものの、各部門の入賞候補43作品による各賞選考の経緯を見守った。午後3時30分、休憩ののちいよいよ大賞作品の選考に入り「コウチ・マーケット」「KURA-KURA」「福砂屋松が枝店」「サウンドプレス」「ブルームバーグICE」の5作品をめぐる各審査員による真摯な討議が展開されたが、築地場外「コウチ・マーケット」の作品に対して意見が別れ審査は難航、「この(作品の良さが)どんな物なのか(一瞥しても)良くわからない、説明されて初めて(良さが)わかる。」「そこになくても良いものなら、必要のないことなのではないか?」「デザイン賞審査において造形上の新しさは本当に良いことなのか?」と問題提起した糸井氏の「私はデザインの専門家ではないので利用者・客の目線で意見をいいます。」との審査会冒頭の言葉が昨年の宮本亜門氏のフラットな視点と重なって聞こえたのは、関西から参加した私と里吉副委員長のみではないように思えた。

JCDデザイン賞委員会:委員 郷力憲治

選考点数一覧表	国内	海外	総計	入選点数	入賞数
1: 物販店舗	84	5	89	7	12
2: 飲食店舗	136	7	143	14	13
3: 大規模店舗	14	1	15	4	2
4: サービス・アミューズメント	47	7	54	14	5
5: 文化・公共施設	42	15	57	12	9
6: その他	12	1	13	7	2
合計	335	36	371	58	43

入賞の内訳	大賞	糸井重里賞	審査員特別賞	優秀賞	新人賞	奨励賞
1: 物販店舗	1			4		7
2: 飲食店舗		1	1	4	1	6
3: 大規模店舗				1		1
4: サービス・アミューズメント				3		2
5: 文化・公共施設				3	1	5
6: その他				1		1
合計	1	1	1	16	2	22



大賞

「コウチ・マーケット」
長尾 亜子+大成 優子

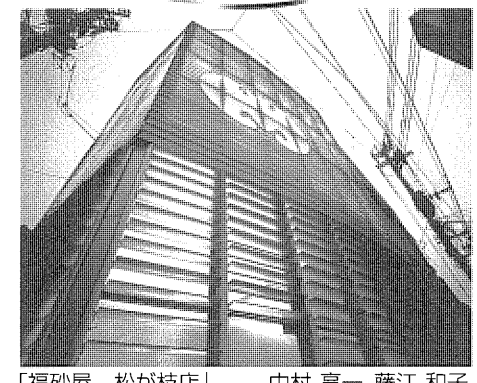
糸井重里賞

「KURA-KURA」
亀井 リノ

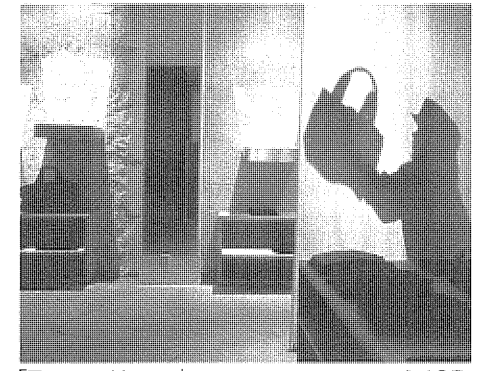
新人賞

「Float」 谷尻 誠

優秀賞



「福砂屋 松が枝店」 中村 享一、藤江 和子



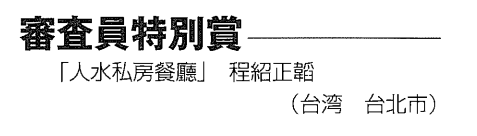
「Temas Kyoto」 14SD



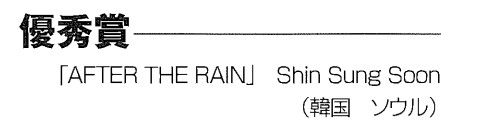
「メンバーズパー M」 佐藤 大権



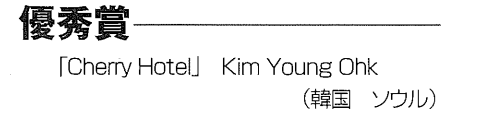
「サウンドプレス」 熊沢 信生



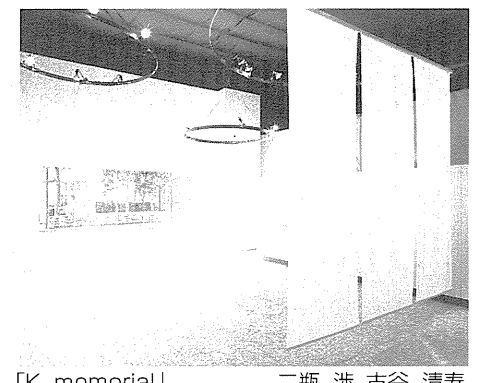
「人水私房餐廳」 程紹正翰 (台湾 台北市)



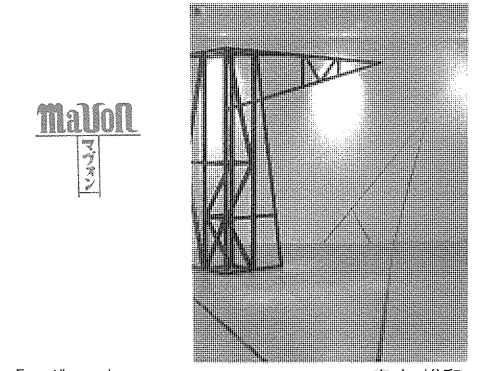
「AFTER THE RAIN」 Shin Sung Soon (韓国 ソウル)



「Cherry Hotel」 Kim Young Ohk (韓国 ソウル)



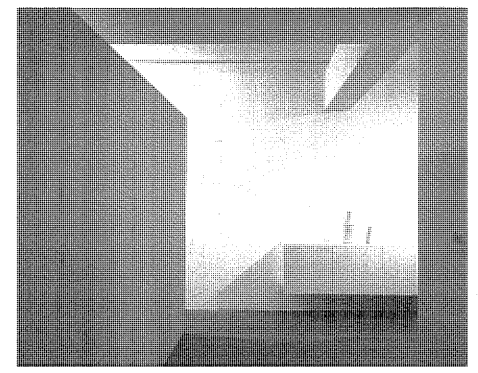
「K memorial」 二瓶 渉、古谷 清寿



「マウオン」 島上 裕和



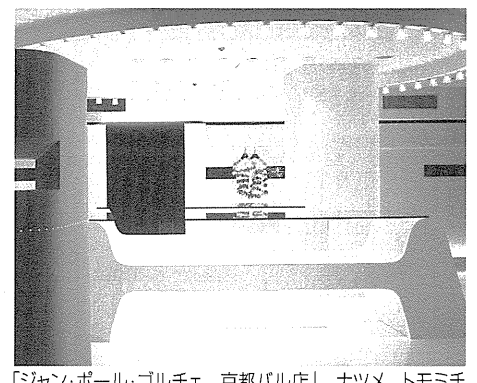
「JRタワー 高架上屋駐車場排気塔屋根デザイン」 菊竹 雪



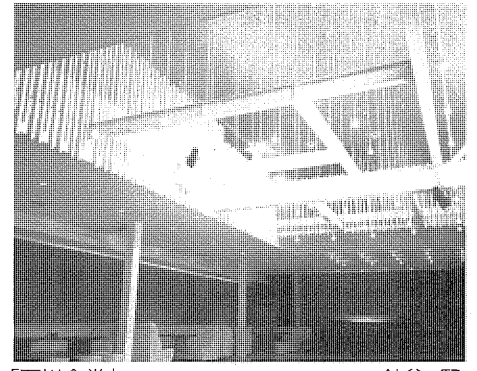
「T+M」 小泉 誠



「ギャラリー小柳 ビューイングルーム」 杉本 博司+日笠 直彦



「ジャン・ポール・ゴルチエ 京都バル店」 ナツメ トモミチ



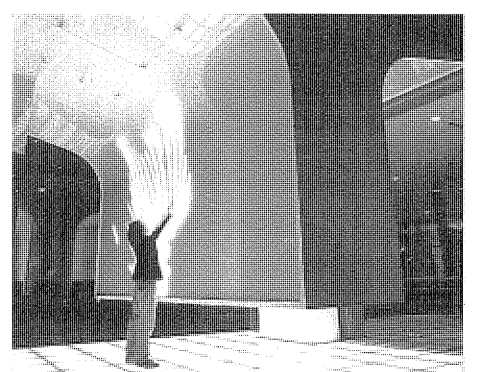
「石川食堂」 針谷 賢



「ガーデン浦和本店 空間グラフィック計画」 竹内 良幸

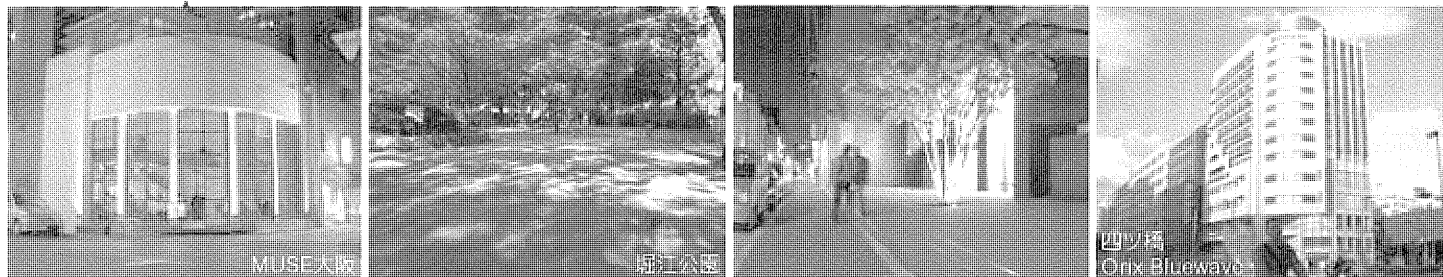


「ギャラリー門馬 アネックス」 赤坂 真一郎



「ブルームバーグICE」 アストリッド・クライン

その3 南堀江/北堀江界隈



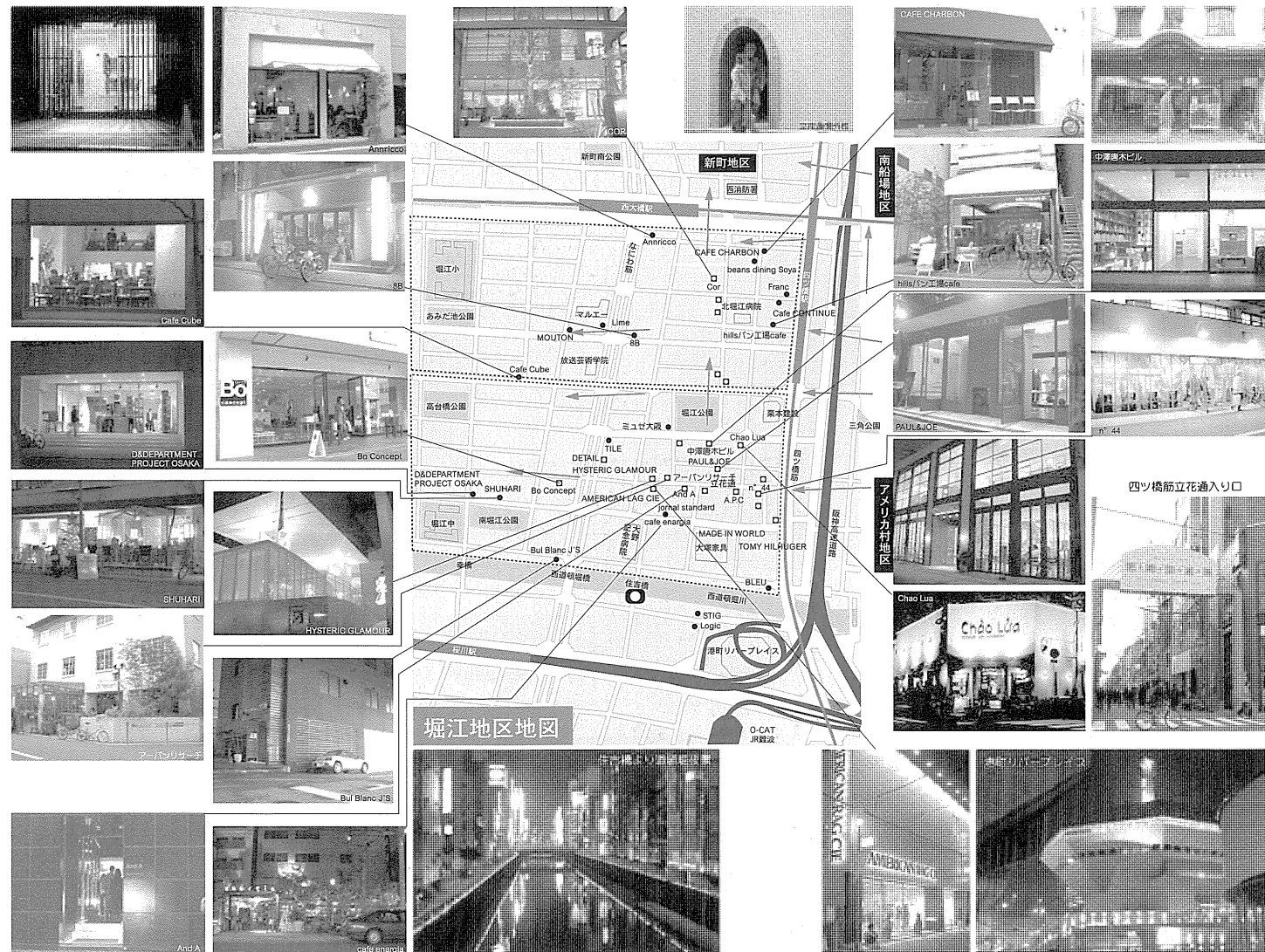
大阪ミナミ堀江地区(アメリカ村の西側)は、5年前まで家具店の並ぶ立花通りだけが、土日に婚礼家具を下見にやってくる親娘がちらほらという感じだった。やがて立花通商店街活性化のためフリーマーケットが行われると、アメリカ村から人の流れに変化が起り始めた。98年、家具街にオシャレなカフェやブティックがポツポツ現れ、やがて東京の大手資本のセレクトショップが次々に進出。家具店もインテリア雑貨やヤング向けの家具へと品揃えを替え、立花通が若者の注目する魅力ある街へと変身していった。

これには理由がいくつかあった。人の住む生活圏であり、道路も広く地元の住人が買い物のあと、カフェを見つけてのんびりと落ち着いた時間を過したり、公園でもゆっくり快適な気分できつろげたり、さらに以前からスタジオやデザイン事務所/ギャラリーが多くあり、クリエイターの住む繁華街とビジネス街に近い静かなア

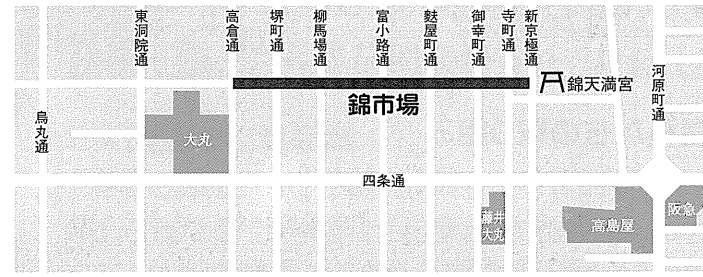
カデミックな街であった。また、もともと材木倉庫や家具の倉庫が多く、新しい店への変身が容易に出来たこと、アメリカ村からの脱皮、箱もの集積型商業施設からパラエティーに富んだ路面店文化への魅力、店作りのコンセプトもオリジナルな個性化/差別化を打ち出した店が多く、各ショップともにオーナーのこだわりと感性がおとなの若者を引き込むことになった。

大阪の最エッジスポットとして魅力ある店が目まぐるしく今も増え続けている。一度ゆっくりと訪ねると良い。

矢印で表示のようにアメリカ村から立花通/南船場への流れが起り、立花通の線から面へ、南堀江から北堀江へ、なにわ筋から更に西へ、南船場から四ツ橋筋を渡り新町/立売堀へ北堀江から新町へと、新しい流れも出ている。



その4 京都/錦市場界隈



明治の創業時から変わらない生麩、湯葉

昔から市場は大好きなところで、東京では築地場外市場へ買い物兼ねてよく出かけていた。築地市場に隣接し、生鮮食品はもとより、鍋、釜、包丁などあらゆる飲食関連の品物も手に入る。特にプロ仕様の物にはデザイン、機能とも優れたものが多く、料理をするわけでもないのについて買いたくなってしまう。年末には人混みをかき分けて、お正月用に「松露」の玉子焼き、「伏高」のだし粉などお気に入りの品々を買って求めている。

そんなわけで、京都に引越して最初にしたのは市場探しでした。

七条通にある中央卸売市場の近くに、築地場外に似た市場(商店街)があるが、パブル以降は昔ほどの活気は無いようである。わが家の近くには観光客にも有名な「錦市場」という400年の歴史を有する由緒ある市場がある。

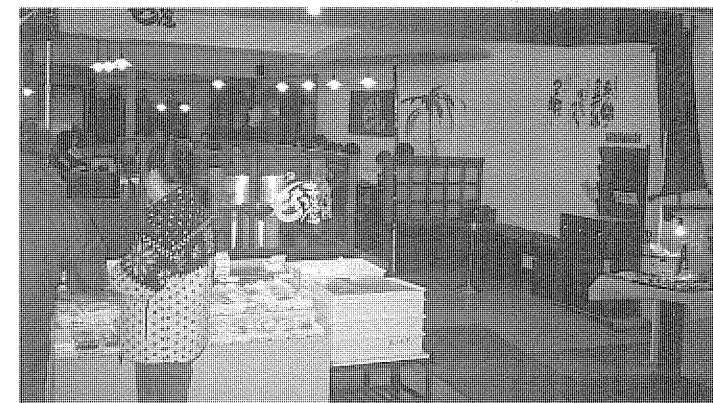
錦小路通りの「錦市場」とは、東は新京極通・錦天満宮から西の高倉通までの巾約3m、長さ390mのアーケードである。この狭い石畳の通りに130軒ほどの商店があり、魚をはじめ生鮮食品ならなんでも揃い「京の台所」といわれてきた。店舗の原型のような「見世」がたたくさん残っていて風情のある通りになっている。最近はその中にもモダンでお洒落な店が増えてきているが、錦の町並みをくずさない程度で止まってきている。アーケードを抜けた通りの近くには東京でもよく通った「寿司清」や「一風堂」もあるが、路地奥にほのかに見える提灯のそば屋に惹かれてしまう。

買い物の便利さから見ると、京都の大丸や高島屋のデパ地下も安くて新鮮な食品があふれて賑わっているが、錦市場の風情はこれからも残して欲しいものである。

(錦市場のホームページ <http://www.kyoto-nishiki.or.jp>)



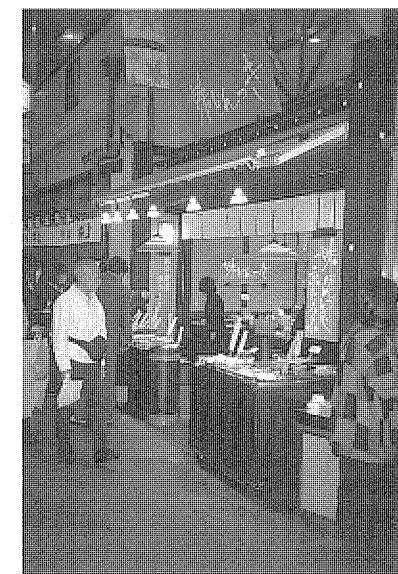
自然食品の乾物や塩干物の店先



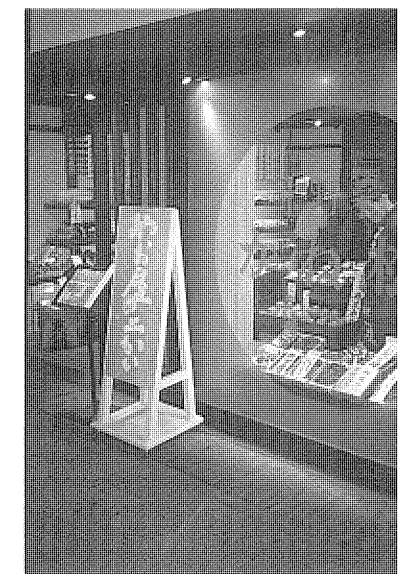
店先で餅つきをしているお茶処



路地の奥にたたずむそば屋



お気に入りの豆腐、ちりめんのお店



ブティックのような京野菜の店

研究
発表

商環境とエコデザイン

研究開発委員会 前田泰弘

環境とは①めぐり囲む区域。「②四囲の外界。周囲の事物。特に、人間または生物をとりまき、それと相互作用を及ぼし合うものとして見た外界。」とあり、又エコロジーとは生態学、生態-社会生活における、そのもののありのままの状態と広辞苑(第三版)にある。

つまり環境問題とは私たちを取り巻く環境をそのままの状態に維持することなのです。

■ 環境問題の現状

近年我が国の新聞、雑誌ではダイオキシン、環境ホルモン、エコマーク等、エコ問題(商環境と環境問題が類似言語の為、ここでは環境問題をエコという言葉で表現します)に関する記事は大きく取り扱われています。このような動きは環境基本法にはじまり、エコ関連法規の整備と社会全体の努力により、エコ問題が我が国の社会に認知され定着したと言えるのではないのでしょうか。

これは国際的に見ても1976年の地中海汚染防止条約から始まり、1992年地球サミットがブラジルで行われ頃から極めて大きくクローズアップされ全世界が動き出しました。

しかしながらエコ問題の問題点として国際間において大筋は合意しながらも、下記のような各国のエゴが複雑に絡み合い、全世界が一丸となるまでには至っていない様です。

- 1.先進国と途上国の格差-先進国があまりにも地球の資源を消費しすぎているため途上国との間でバランスがとれない。
- 2.経済至上主義-環境管理コストの低い国で生産する、環境問題の少ない国に環境に配慮していない商品を輸出等。

■ 私たちの取り組み

商環境設計家協会関西支部が平成14年度の研究開発委員会での研究課題として、商環境におけるエコ環境への取り組み資料作りを進めてまいりました。しかしエコ問題は調べれば調べるほど巾が広く、奥行きも深いと言う結論に達し、それでは我々商環境に携わる者として何をすればよいかとなりますが? 私なりに考えるエコ問題とは、

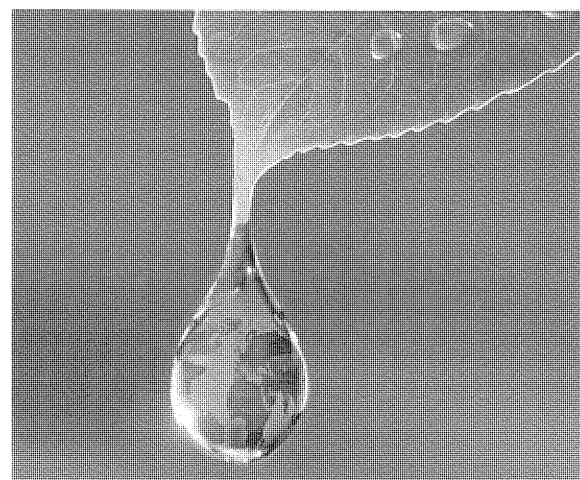
- 1.地球の資源は有限である事。
- 2.過去に地球は何万年という時間をかけて現在の自然を作りだし、未来に向けて又何万年という時間をかけ、その自然環境を変化させていこうとしている。
- 3.人類も地球の自然環境に生かされている(大きく言えば宇宙環境に生かされている)。

このような事から、環境保全なしでの経済成長や人類の幸福もありえないと言うことであり、このまま行けばいつか地球は破綻するという事につながります。

エコ問題の対策の基本は「未然防止」であり、商環境に携わる者としてエコ設計による地球環境保全への貢献のため、エコ材料の使用はもとより、リユース、リサイクルの考えを入れた巡回システムを考慮した設計をクライアントに少しでも理解していただく事であり、この事が商環境デザイナー各々の、其の立場で現在なしている、エコ問題への取り組みの第一歩であり、地球環境保全に向けて、せめて半歩でも前進させる事であると確信いたします。

そのため研究開発委員会として、少しでも皆様のお役に立てるよう、もう一年エコデザインの参考資料を作りたいと考えております。

地球温暖化防止など環境の観点から、
一方で、全世界の発電電力の
温暖化ガスの削減手法の
「ノンフロン」で目
環境アピールし「
の失敗に学ぶゴミ
リサイクル事業
改正廃棄物処理法が成立
焦点は不法投棄の未然防止
広域的なりサイクルの推進

研究
発表中心市街地活性化における
大型閉鎖店舗対策への取り組み

研究開発委員会(協)TMネット(株)エフ・ビー・シー大阪オフィス 出口巴幸

1. 大型店の空き店舗

中心市街地活性化の取り組みが始まり5年が経過している。各地ではいろいろな活性化事業が実施されているが、今後の大きな課題は大型店の退店等に伴う空き店舗の対策である。

もともと中心市街地は、古くから商業や業務など様々な機能が集まり、人々の生活や交流の場となり、長い歴史の中で独自の文化や伝統を育むなど、その街の魅力や賑わいを代表する「顔」である。しかし、このような中心市街地は郊外開発の進展や大型店の出店、都市間競争の激化等により、厳しい状況に置かれている。

この厳しい状況の中で、最も困難で対策の緊急性が求められているのが大型の閉鎖店舗問題である。ある意味ではその街を代表していた「顔」であるため問題は深刻となっている。国の調査によると、中心市街地活性化基本計画を策定した市町村では、大型店の空き店舗は約300ヶ所にも達している。

2. 大型閉鎖店舗の再生に向けて

中心市街地における大型空き店舗等の施設は、まちのシンボルでもあり、マグネットとしての集客力や賑わいづくりに貢献する機能を持っている。時代や施設の内容が変化してもその機能を持続させていくことが重要である。

閉鎖店舗になる原因には、本業の経営不振という理由以外に、バブル期の過大投資による経営破綻やチェーン自体の破綻による影響、再開発であれば権利床所有者の経営破綻等があり、管財人の下にあるものや床の所有者が次々と替わり混乱しているケースもある。まちなかにある建物を安定的に継続して活用していくためには、行政やTMO、まちづくり会社等での不動産の確保が不可欠である。まちの財産であり、公共性の高い機能がある施設であるという認識の共有化も必要である。しかしながら、本業での経営赤字は許されるべきものではない。

施設内部の構成等は時代とともに変わっていくが、中心市街地活性化区域内における施設の存在は不可欠なまち機能と

して持続していくという仕組みが必要である。

本業での経営不振の原因としては、郊外への大型店の出店による客足の低下や駐車場不足、規模の問題等、またフロア毎の面積が狭く階層という施設問題、魅力ある商品や店舗が不足しているというテナントミックスの不適、接客やサービス、販促等も含めたマネージメントの問題などである。郊外と中心部との施設同士の同質競争をすれば、自ずと郊外に軍配があがる。しかし、中心市街地活性化区域という面としてのショッピングモールの一翼を担う施設という捉え方をすれば、その対応は十分に可能である。

まちづくりの中で再生方策は、商業機能だけではなく、公共系やコミュニティ等機能によるミックスであれば、郊外と違う高度な市民の欲求を満たし中心市街地活性化に大いに役立つものである。

3. 再生効果の評価づくり

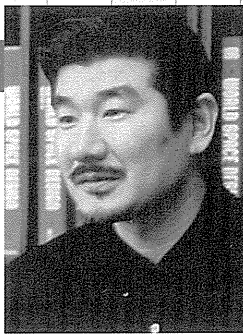
全ての中心市街地活性化事業に言えることではあるが、まちづくりについての市民の満足度や各種調査を実施し、その評価に基づいた大型閉鎖店舗の再生時の活性化効果を正確に捉えて判断していくことが必要である。通行量や駐車場の利用率など各種の客観的な数値、顧客満足度調査を活用した解析による定量など、目に見えて分かりやすい評価基準が必要である。大型閉鎖店舗再生対策の効果の評価しオープンにすることによって、改善計画や市民等とのコンセンサスづくりに役立てていく。



経営破綻による旧百貨店の大型閉鎖店舗(W市中心市街地活性化区域内)

鳥居 佳則

鳥居デザイン事務所
名古屋市中区代官町31-27 コムラビル1F
tel:052-933-2878
fax:052-933-1748
E-mail:toriido@spice.or.jp
URL:www.toriidesign.com
中部支部所属
デザイン賞委員会 委員
趣味:映画鑑賞



先日、温泉に行ってきた。最近は特に仕事が忙しく、疲れが溜まっている感があったので思い切って宿に予約をとった。愛知県の南、知多の師崎にある「花乃丸」という温泉旅館である。「誰と行ったのか」って?、もちろん愛人…ではなく愛妻と一緒にいる。

自宅から約一時間半、愛車を飛ばし午後四時頃到着した。駐車場に着くと車の所まで仲居さんが出迎えをしてくれた。少し心地よい感触を受けながら玄関に入ると、「お疲れ様でした」とまた新たな仲居さんが3人程迎え入れてくれた。

その後「少し違うな」と思わせたのは、フロントカウンターの前にロビーがありそこへ案内された時だった。通常はカウンター越しに立ったまま受付するのが普通だと思っていたが、ここはロビーのソファに腰をおろしたままチェックインできるシステムになっていた。その行為は客と宿側の距離感を縮める役目を果たしつつ、短い時間の付き合いの中に信頼関係を深める意味も含まれているように思えた。

部屋に向かう途中、ある場所へ案内された。色とりどりの浴衣がずらりと並べられている呉服問屋のような造りの場所。ここで好きな色柄のものをどうぞお選び下さいという訳だ。訪れた女性にとってこの行為は、晴れ着を選ぶようないい気分させてくれるものであろう。仕事柄、飲食店やホテル、旅館などのサービスやオペレーションは気になる場所であるが、なかなかのサービスに期待感を盛り上げながら部屋の前にたどり着いた。

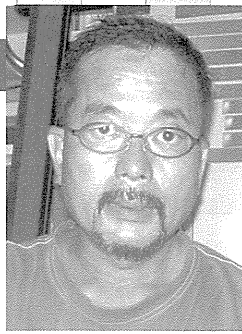
茶室に入るような感覚で玄関の引戸をくぐり部屋に入る。20帖近くある和室は2人では広すぎる程で、部屋の造りは一般的であるが空間の贅沢さから言えば満足できるものであった。

ここで、とっておきの品をご紹介します。この部屋にはなんと露天風呂が付いているのである。直径約1.2m程の陶器で造られた円筒型の湯舟で、24時間同じ温度を保つようにマイコンが付けられた優れたものである。また今の時期は目にも鮮やかな新緑の季節で、湯舟につきながら眺める景色は身も心も癒してくれて……最高の気分である。

最近よく考えさせられることが多い。人にとって「豊かな空間」とはどんなものなのだろうか。今回の温泉旅行をふまえて考えてみると、それは空間の持つ力だけではなく、例えば「いつ誰と何処へ何をしに行くのか?」そんな行為の中に隠された、豊かな心が創り出す空気感こそが大切であり、豊かに感じるか否かはその人自身の心の空間。大きさに左右されるものであると……。

中村 真之介

(株)彩工社
埼玉県川口市弥平2-17-3
Phone.048-223-1341
Fax.048-225-0408
sinnosuke@saikohsha.co.jp



関東支部所属
デザイン賞委員会
コミュニケーション委員会 委員

先日、82才になる叔父が病気で亡くなった。棺に横たわる叔父の姿は、18年前に亡くなった父に酷似していた。

父 中村誠二はドキュメンタリー映画のカメラマンとして名を成した男であった。25才の時「捕鯨」でデビューし、35才の時に撮影した「富士山頂観測所」は、50日もの長期に渡る滞在で、カメラが凍らないように身体で温めながらの撮影であったと聞く。1955年に、植物・地質・人類学調査のため結成された、京大ヒンズークン探検隊に同行して撮影された映画が、日本発の長篇カラードキュメンタリー映画「カラコルム」で、国内外の多くの賞を受賞した。

又、1958年には、日本発のシネマスコープ映画「メソポタミア」を撮影し、注目を集めた。雑誌にオヤジの記事が載ったり、中学校の国語の教科書に名前が出てきたり、オヤジをモデルにしたTVドラマが製作されたりと尊敬に値する存在であった。しかし、私はオヤジが好きではなかった。自己中心的で極度に神経質なところがあり、オヤジがイライラしている時の家は、ピリピリと緊張が張り詰め息苦しかった。オヤジが長期ロケに出るとホッと胸を撫で下ろしたものだ。

そんなオヤジは今から18年前に癌で亡くなった。1年半の闘病生活の後の事であった。息を引き取った後、私は国立医療センターの病室から外に出ると止めどなく涙が溢れた。悔しかった。もっと会話をし、素直にオヤジから学ぶべきであったと後悔した。私が生まれた年に、父は仕事で志賀直哉を密着取材する機会があり、それが縁で私の真之介の名は、志賀直哉により命名された。岩波書店刊の志賀直哉全集「日記二」にそのくだりが書かれているが、写真の真をとって真之介が真作にすべしとある。真之介の名、大事にしていきたいと思う。



JCD/DAIKO連続シンポジウムSECTION33

2003年2月27日(木) 府立ワッハ上方演芸ホール 「フードビジネスの今を考える」

午後5時30分、大阪会場となった千日前ワッハ上方演芸ホールのロビーは大勢の熱気につつまれた!

第1部ライティングセミナー。テーマ:「飲むヒカリ、食うアカリ」～食事という小劇場のためのライティング～は、大光電機(株)エキスパートリーダー若井 修氏による芝居仕立てのライティングパフォーマンスで始まった。

食卓へのライティングというデリケートなニュアンスは大会場の隅々までは届きにくい、その主旨は伝達理解されていた。

第2部基調講演。テーマ:「ちゃんとの十年」大阪発のフードサプライヤー、キムチの王様(株)ちゃんとのオーナー岡田賢一郎氏(通称ボス)の元気いっばいのトークがウォーターグラスを片手に始まった。

大阪東心斎橋に「美食酒家ちゃん」と開店以来10年で45店に成長、そのプロセスのなかで感じられているフードビジネスの一環としてのデザインの在りかたについて言及された。

今のデザインの賞味期限は短かすぎる、3年では困りもの、5年目から儲けなければならぬのに!100年住宅ではないけれどメンテナンス費用のかからないロングライフな店づくりとデザインの関係、プロジェクトに関わっている様々なプロフェッショナルとの協働作業の中に生まれるデザインとは……もの



づくりは料理も店舗も同じ、今後はそのプロセスを大切にどんどん広げていきたいと語った。

第3部パネルディスカッションはJCD会員安井秀夫氏の司会により基調講演の岡田賢一郎氏とJCD会員橋本夕紀夫氏の二人で「ちゃんとの繁盛店づくりの現場」を橙家(だいたいや)の連作を中心に進められ、イメージからインテリアへ世界に通じる「和」のデザイン手法についてオーナーとの率直な協働の実態が様々に披露された。

プログラムの終了にあたり主催者を代表して大光電機(株)代表取締役社長前芝辰二氏により300名超の参加者に向けて、6年に及ぶJCD/DAIKO連続シンポジウムの経過と今回の講演内容を時代をきりひろく行動規範に生かして……とのお礼の言葉でしめくられた。

情報委員会 郷力憲治 記

支部総会

平成15年6月9日(月) 昨年11月1日にリニューアルオープンした中之島中央公会堂にて、平成15年度関西支部総会を開催。

17時から大会議室にて公会堂改修工事のVTR上映会、改修工事の総費用が知りたい程、手の込んだ工事であったことを実感した。

18時から同所において「支部総会」、今年度より「集会」から「総会」と名称変更をし、より議論を活発に交換できるようなところみた。

総会では、野村理事長の挨拶に始まり、山田支部長の本部活動報告、里吉支部専務理事の支部活動報告、3委員会の市川、小宮、神戸各委員長より昨年度の活動報告および今年度の活動計画の報告がされた。久しぶりにお顔を見せていただいた、赤松名誉会員より現会員への励ましの言葉と関西活性化への取り組みを期待するとのお言葉をいただいた。会員からの意見としてJCD本部のホームページと各会員のホームページがリンクできるようにとの要望があり、支部長より本部に要望すると回答があり支部総会は無事閉会。

19時からの懇親会は場所を大正時代のネオ・ルネッサンス



様式の香りを感じさせる小集会室に移し、会員36名、賛助会員26名、来賓として商業施設団体連合会・草木氏、大阪デザイン連合機構・西尾氏、インテリアデザイナー協会・山崎氏、大阪デザインセンター・川上氏をお招きし、大菅名誉会員の音頭で乾杯、和気藹々と宴が営まれた。好例の賛助会員各社による商品PRも実施。松下電工、TOAカラーワークス、東リ、タジマ、サンゲツ、ニッポ電機、大光電機、日照、ロイヤル、アイデック、マックスレイ、遠藤照明、小泉産業各社のPRがわずか1社数分でしたが熱心に説明をいただいた。

初の試みの組織委員によるくじ引き大会も盛り上がった。例年足りなくなる料理が今年は珍しく残った状況で閉会の時刻が迫り、来賓の方々のご挨拶と組織委員会担当白井理事のお開きの挨拶で締めくくられた。

組織委員会 市川邦治 記



新緑の るるぶ会

東海道宿場町探訪 関・亀山・湯の山・近江八幡スケッチの旅

と き:平成15年5月24日・25日 参加者:大菅、金沢、小宮、亀井、菅野、菅野、原田、前田、和田、市村、前川



大光電機電機のショールームライティングコア大阪で、JCD会員の末浪伸浩氏を招き、第80回JCD/DAIKOコアトークin OSAKAが3月14日に開催された。

今回のテーマは「私が思う商環境あれこれ」。形としての空間やモノは残るが、それを「商品」として捉えた時にデザイナーや設計者の立場でどう関わるべきなのか?二十歳代から現在に至るまで、それぞれの世代に関わった「商品」を通してその時々何を思い、考え、実現していったのかを語った。

トークではまず、近鉄阿倍野店の酒販コーナーなどの施工例を紹介しながら「このころは店舗の設計・施工ばかりやっ

ていた」という二十歳代の仕事を振返った。上司の「店を商品で売る手助けをするだけの箱」という言葉に影響を受け、「店づくりでは商品をどう見せるかが最も大切」と考えるようになる。また、地方の百貨店の現場で「別の区画の工事をしているのに気がついて、血の気が引く思いがした」という失敗談も披露して会場を沸かせた。さらに三十代では、店舗兼住宅や高気密断熱住宅など商業施設ばかりではなく建築の物件も数多く手掛けるようになる。クライアントが求めるものを満足感が得られる形でデザインしようとするうちに「『作品』ではなく『商品』と考えるようになった」という。

そして四十代に入ってから仕事としてミュージシャンの音楽スタジオ兼住宅を紹介。外観はごく普通の3階建住宅だが、振動を防止するために二重構造にするなど、随所に苦心の跡がうかがえる。費用は予算内で収まり、施主の満足も得ることができた。

最後に末浪氏は「二十歳代は商品を見せる箱づくりをやってきた。三十代はクライアントの欲しがらるものを、できるだけ欲しい形で提供しようと努めた。そして四十代になって、予算・時間・体力など実感しながら、楽しんで仕事をしたいと思っている」と語りトークを締めくくった。

第80回 3月14日

JCD/DAIKO コアトーク in OSAKA

5月30日 第81回

第81回JCD/DAIKOコアトークin OSAKAは5月30日にJCD会員の小泉誠氏を東京から招き開催された。今回のテーマは「コイズミの素」。我々は自分自身が生活に使う道具のデザインにどれほど関心を持っているのだろうか?いま注目を集める“生活に関わる道具”のデザイナーがいくつかの道具の話から、デザインの素+コイズミの素を語った。

トークでは、空間のデザイン、インテリアデザイン、プロダクトデザインなど自らの作品はもちろん、先達が残したさまざまな道具のデザインをスライドを交えながら考察した。

定規、カーテンレール、版木といった道具が次々に画面に映し出され、そのユニークなデザインに「これは何?」とオーディエンス問うても、なかなか答えることができない。小泉氏はそういったモノのカタチのおもしろさ、発想のすばらしさを語りかけた。

また、自らの作品として、箸置き、照明器具、椅子、時計など、多彩な道具を紹介。このうち照明器具では取っ手を持ち上げると自動的に点灯するLED照明や、キャスター付きで必要な場所

に移動できるスタンド型器具が注目を集めた。

人気デザイナーの登場とあって当日は会場定員をはるかに越える160名が詰めかけメイン会場だけでは収容できずサブ会場でもテレビ中継で聴講する盛況振りであった。

研究開発委員会副委員長
中尾晋也 記



東2番ショートホール、こんな美しいホールも暴風の中では恐ろしい池にしか見えません。

JCDゴルフ同好会

平成15年5月31日 J&Pカントリークラブ

38年ぶりの5月上陸台風が宇和島に上陸し広島から日本海に抜けるさなかJCDゴルフ同好会の兵たちは、最大瞬間風速20メートルと予想される中、アゲンストの風に向かってナイスショットがたったの150ヤード、フォローの風は味方にできず黙々と前進。昼休みには言い訳の嵐「この風ではボールが前へ進まん…(打ち方が悪いから前に進まんや!)」「風にボールが持つ

ていかれて(出だしから右の飛んでいったのに?)」「誰やこんな中でゴルフをやるやつは?」等々嵐よりうるさい!午後からは台風一過のような快晴、風までおさまり言い訳の出来ない状況に、でもほとんどの方は午後のスコアが伸びなかった。結果は、予想通り実力のある方が上位に。久保田幹事の発声でノンアルコールビールにて乾杯!思い出に残るコンペでした。今回から1人会費1,000円を頂戴しダブルペリア方式にて、優勝賞金5,000円、2位3,000円、3位2,000円、BB1,000円と分配しました。

組織委員会 市川邦治 記



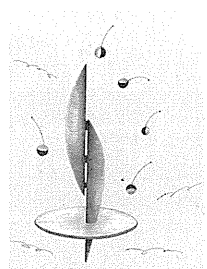
成績表 (H.C.はダブルペリアによる)

順位	氏名	東	南	TOTAL	H.C.	NET
優勝	片岡 正範	45	49	94	20.4	73.6
2位	斎藤 芳一	52	49	101	25.2	75.8
3位	出口 巳幸	48	49	97	20.4	76.6
4位	金沢 明彦	44	52	96	19.2	76.8
5位	赤迫 直行	58	51	109	31.2	77.8
6位	菅野 哲爾	55	54	109	30	79
7位	久保田博文	50	55	105	24	81
7位	市川 邦治	48	57	105	24	81
BB	大森 貴夫	54	59	113	28.8	84.2
BM	亀井 克二	66	66	132	36	96

編集後記

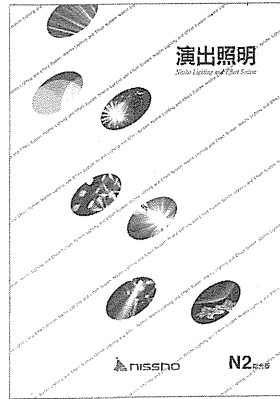
会員の皆様に原稿をお願いしているにもかかわらず、私自身が忙しさにまけて締め切りに遅れてしまいました。反省しております。そんな私を暖かく見守り協力頂きました会員の方々、情報委員会の皆様ありがとうございます。創意工夫を凝らした特集を考え、皆様に楽しんでいただける誌面づくりを目指して次号も頑張りますので、より一層のご厚誼宜しくお願い致します。 末浪伸浩 記
【編集委員】杉山・神戸・久保・友田・寺井・末浪・一色・岩本・内田・遠藤・老田・権藤・佐藤・桜井・辻村・西澤・橋本・畑中・藤谷・藤村・前田(穂)・山口
【指導補佐】郷力
【サポート】山田支部長・里吉支部専務理事

表紙/デザイン
「モナド」



さらさら
宙に浮かぶスペース
モニュメント「モナド」。
さてあなたは観る
でしょうか?
(ミノクレエ 友田みのり)

Needs & News



演出照明
Stage Lighting

小さなスペースでもパワーを発揮する、コンパクト設計の本格派。
組合わせは自由自在。ご予算レイアウトに合わせてシステムアップも思いのまま。
操作はやさしく、施工も簡単。プロ並の照明が手軽に実現できます。

株式会社 日照

〒566-0035 大阪府摂津市鶴野3-8-7
TEL.0726-34-1231 FAX.0726-34-1239

A L M A



適材適床

建物は用途や使う人々によって様々な種類があります。病院・医療施設、福祉施設、学校・文教施設、幼児施設、商業施設、オフィスビルなど夫々に特長や性能を求められています。床も建物によって求められる特長や性能が異なります。建物には様々な部屋や場所があります。やはり夫々に求められている環境や特性が異なります。タジマは、適材適床を考えています。建物別、部位別、機能別に商品開発、床づくり提案をいたします。

やすらぎを演出する色彩と深みのあるテクスチャー。ナチュラルからモダンなテイストまで。

グラフィックタイルカーペット GXシリーズ

高いデザイン性と、豊富なバリエーション。商空間へ彩りを添えます。

バリエーションは、12種類。その他に空間構成にかかせない無地タイプ26色のカラーパレットGX200もあります。

TOLI 東リ株式会社
(URL) <http://www.toli.co.jp>

株式会社 **タジマ** 大阪営業所
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL.06(6441)5951(代表)
FAX.06(6444)2596

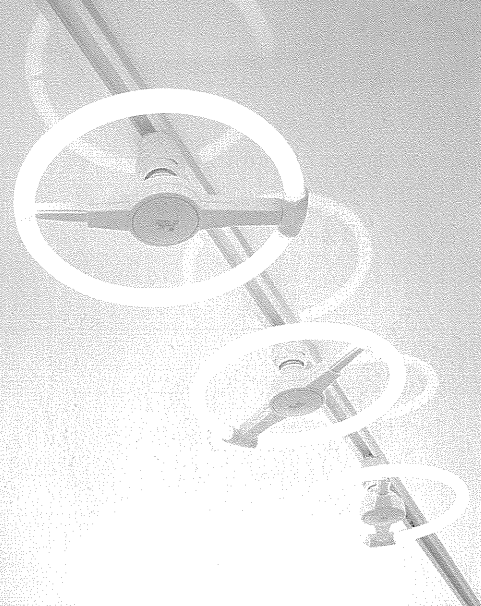
AIDEC

大阪市西区新町1-10-2 大阪産業ビル
TEL.06-6534-0258

STEER LAMP ステアーランプ

個性的な空間演出を可能にする、印象的なデザインの蛍光灯ランプです。

- 小型インバータを内蔵した、口金E26の使い易いランプ。
- 管径18mmのスリムな環形蛍光灯。
- ランプは22W(直径180mm)と32W(直径240mm)の2種類、それぞれに電球色(2700K)と昼光色(6200K)をご用意しています。



maxRAY
A Harmony of Light and Space

照明器具の専門メーカー
マックスレイ株式会社

大阪市城東区鴨野西2-18-6 〒536-0014
TEL.06-6967-0140 FAX.06-6962-5988
ホームページ <http://www.maxray.co.jp>

東京 03-3791-2711 大阪 06-6967-0123 名古屋 052-252-9556 福岡 092-431-7824

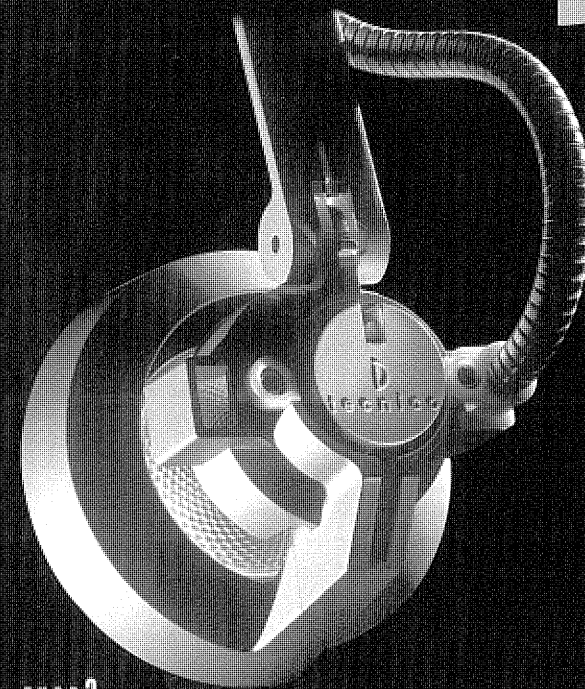
TYPE1

TYPE2



進化するスポット。

tecnico



TYPE4



DAIKO
大光電機株式会社

TEL.(06)6972-6280 FAX.(06)6972-6281
<http://www.lighting-daiko.co.jp>
info@lighting-daiko.co.jp

Needs
&
News



●いいインテリアのある場所には、いい生活がある。

壁紙・カーテン・床材・イス生地・・・
サンゲツなら、たくさんの商品の中からお気に入りのインテリアがトータルに揃います。
さあ、あなたも素敵な部屋づくりはじめてみませんか。

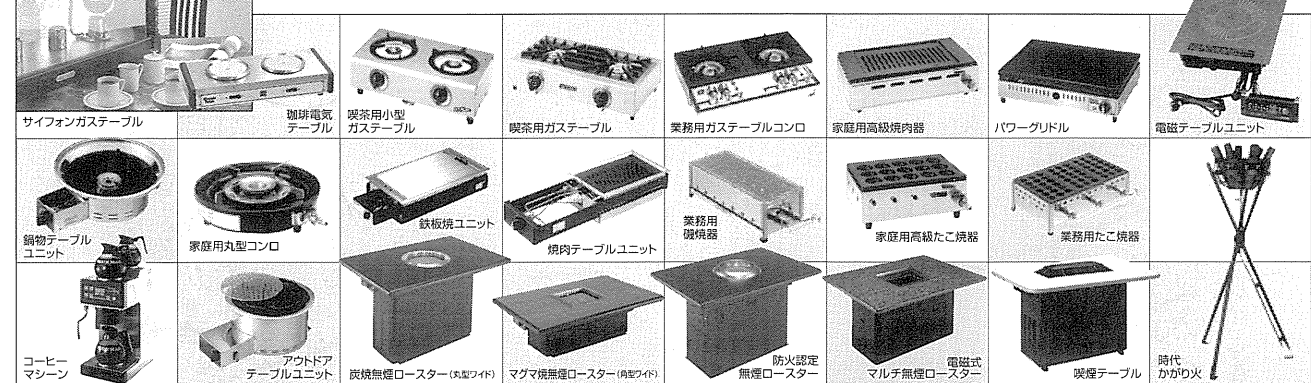
株式会社サンゲツ ホームページ <http://www.sangetsu.co.jp>

●本社/名古屋店 TEL.052-564-3111 ●東京ショールーム TEL.03-3505-3300
●名古屋ショールーム TEL.052-564-3225 ●大阪ショールーム TEL.06-6440-5011

SILK ROOM ヤマキン BLUEMAC

多彩なバリエーションと確かな品質。

山岡金属工業株式会社では、無煙ロースターやガステーブル、小型厨房機器、喫茶機器、喫煙テーブルなど業務用から家庭用まで豊富な商品バリエーションを取り揃え、お客様のニーズにお応えしております。またISO9001認証取得をはじめ、国内外からも日本工業規格表示許可やアメリカ・ガス協会合格認定など多くの技術・品質等に対する証を頂いております。これからも私共は、さらなる品質の向上と製品管理に厳しい目を光らせ、ものづくりへのこだわりを大切に、21世紀に向け、さらに躍進を続けます。

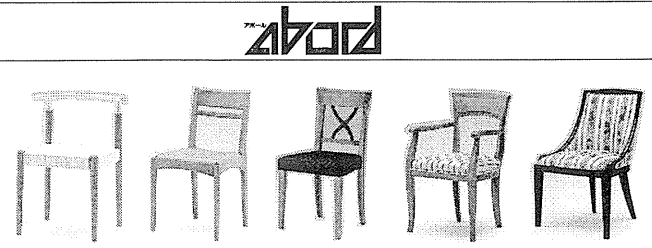
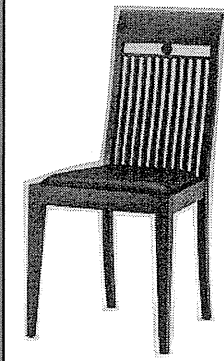


ISO9001 認証取得工場・日本工業規格表示許可工場
山岡金属工業株式会社

●大阪/〒570-8585 大阪府守口市東郷通2-7-30 TEL.06-6996-2351 FAX.06-6997-3045
●東京/〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9F TEL.03-3255-6755 FAX.03-3255-6722

商品に関するお問い合わせは **0120-47-2351**
商品に関する詳しい内容は、ホームページや電子メールでもご覧いただけます。
(ホームページ・アドレス) <http://www.silkroom.co.jp/>
(電子メール・アドレス) silkroom@po.infosphere.or.jp

Needs
&
News



株式会社キノシタ KINOSHITA

本店ショールーム 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22 ☎06-6644-5541(代)
東京支店 〒114-0014 東京都北区田端1丁目11-1 勘五郎ビル1階 ☎03-5685-6401(代)
名古屋営業所 〒458-0035 名古屋市緑区曾根2丁目264 ☎052-624-6660(代)
出雲工場 〒693-0043 島根県出雲市長浜町516-45 ☎0853-28-0311(代)

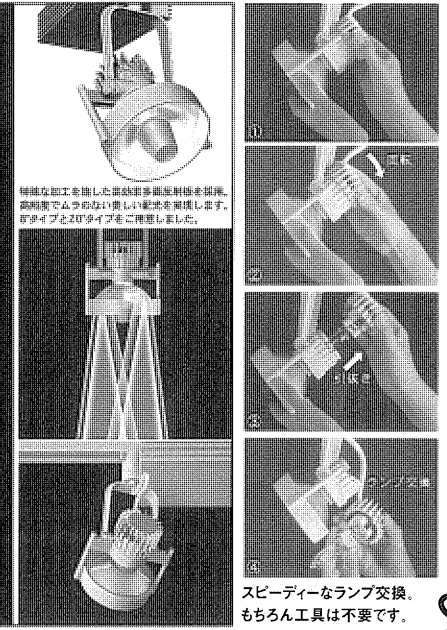
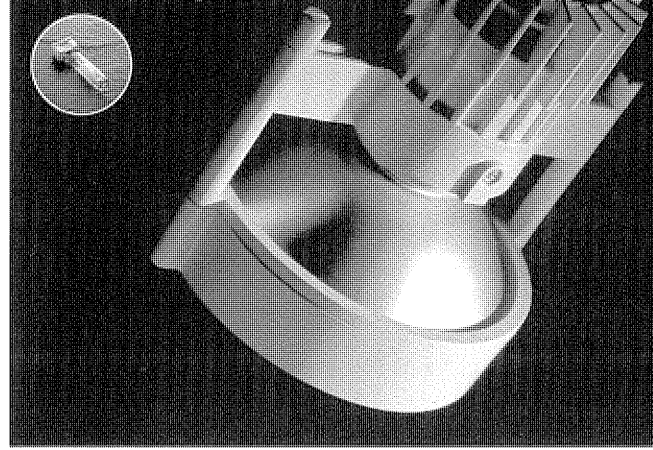
NEW WAVE A SENSE OF LIFE
KOIZUMI

光の本質を最大限に引出す、ATTRACTAシリーズ誕生!

あかり、コイズミ60周年

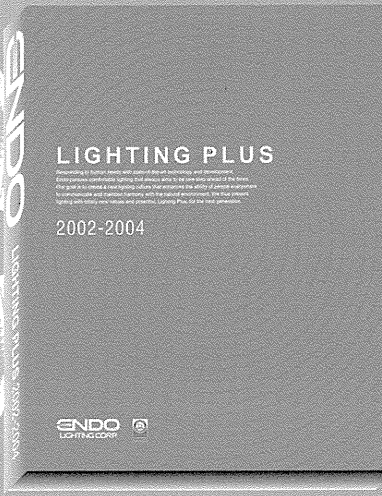
コンパクト
スポットライト

CDM-T Spot Light 70w/35w



小泉産業株式会社 照明分社 大阪市中央区備後町3丁目3-7 〒541-0051 / 東京支社 東京都千代田区神田佐久間町3-12 〒101-0025
大阪店舗開発営業所 大阪市中央区備後町3丁目3-7 〒541-0051 TEL.06-6266-4823 FAX.06-6266-4826
<http://www.koizumi.co.jp/>

LIGHTING PLUS 2002-2004



新・総合カタログ
「ライティングプラス 2002-2004」発行

UPER EFLECTOR
スーパーレフレクター
抜群の明るさを誇るマイクロビームハロゲン球に、新開発スーパーレフレクターを組み合わせることで、驚異のパワーアップを実現します。

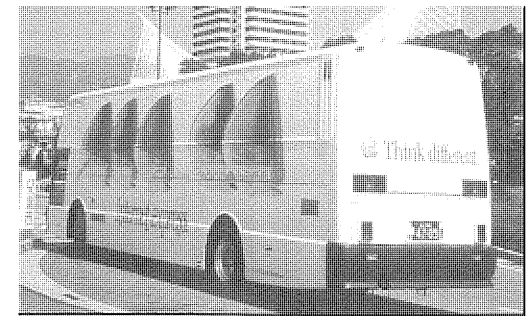
新・CD-ROM カタログ
「ライティングプラス 2002-2004」発行

収録内容
●製品検索 / HTML (JPEG画像)
●LIGHTING PLUS 2002-2004 / PDFファイル
●ABITA EXCEL vol.10 / PDFファイル



●お問い合わせ先 ● 名古屋 TEL:(052)249-2820 福岡 TEL:(092)551-1777
FAX:(052)249-2810 FAX:(092)552-5189
東京 TEL:(03)3845-1120 大阪 TEL:(06)6533-9180 札幌 TEL:(011)815-8161
FAX:(03)3845-1144 FAX:(06)6533-9197 FAX:(011)815-8162
ENDO ホームページ <http://www.endo-lighting.co.jp/>

大型グラフィックで空間を演出する



アーキテクトとグラフィックの融合。
それが私たちのビジネスです。

例えば、たくさんの人を引きつける集客力。
あるいは心地よさや楽しさを感じさせる演出力。
建物にあるテーマが与えられた時、
グラフィックは効果的な力を発揮します。
アーキテクトの持つ美しさや機能性と、
グラフィックが持つ強いメッセージ。
私たちは、その2つの融合によって新しい世界を創造します。



株式会社オックスプランニング 大阪営業所
〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町4-4-12 1-Bセンタービル2F
TEL:06-6245-2262 FAX:06-6253-7410 /担当:日野

SAVING

業界初!セバレットタイプだからできた
30%コスト削減。

ミラー・ランプ・本体が分離型なので、球切れ交換はランプ部分のみ。メンテナンス費用の大幅コストダウンが実現しました。さらに、省エネ光源の採用により消費電力も抑えられ、1年間の経費を約30%削減。ランニングコストダウンを追求した、ハロゲンスポットの新基準です。

SAFETY

セーフティ設計

- ランプ破損に備え、ミラー前面をプロテクターで保護しました。
- 光学ミラーとランプとの組み合わせで、熱線を90%カットしました。

SIMPLE

シンプル&コンパクト



レギュラータイプ
NL02631WK
標準価格8,900円

壁面取付タイプ
NL82638WK
標準価格12,900円



シェルタイプ
NL02621W
標準価格10,700円

半径込みタイプ
NL72642WK
標準価格14,400円



アームレスタイプ
NL02641WK
標準価格8,900円



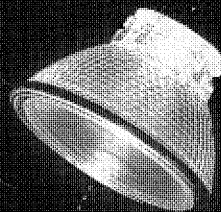
ユニバーサル
ダウンライトも
ご用意
しています。
※全てミラー、
熱・工事費別途。

●選べる色温度&配光

セバレットタイプなので、色温度・配光など、用途に合わせてミラーの変更が可能。配光角は10°、20°、40°の3種類で展開しています。※ミラーは別売です。

配光角	10°	20°	40°
ノーマル 3000K	●	●	●
ナチュラルホワイト 3500K	●	●	
クールホワイト 4200K	●	●	
精肉用		●	
解魚用			●

セバレットで注目のマト。



ミラー・ランプ・本体分離型ハロゲンスポットライト

S-SPOT

※1 平成11年11月現在(当社調べ) ※2 当社製球品(ダイケル電球:110V85W)とS-SPOT(110V85W)との比較
◎資料のご請求は、〒571-8686 大阪府門真市門真10-65 松下電工・電材分社 電機営業企画部マーケティング TEL(06)6506-1131<大代表>まで。
◎松下電工ホームページ「A&I 快通線」http://www.mew.co.jp/